コロナ禍、加速する孤立。

コロナ最前線　若者を未来へ繋ぐ

2020年
年次報告書

ANNUAL REPORT 2020

MAY.2020　ー　APRIL.2021

STOP THE LONELINESS

誰もがひとりぼっちにならない社会の実現を

NPO法人皆繋

ミナツナギ

代表理事　ご挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
皆繋　活動実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～4
日本の動向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
みんなの調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
MINATSUNAGI　2020・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
孤立死・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
孤立しない社会へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
ICS PROJECT　（地域交流拠点づくり）　・・・・・・・・・・・10
新型コロナウイルス 緊急支援　・・・・・・・・・・・・・・・11～13
角島デイキャンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
クリスマス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
ORANGE SANTA PROJECT2020・・・・・・・・・・・・・・・16
How to minatsunagi？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
その他　活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
協力支援サポーター紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
皆繋への遺贈について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
収支掲載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

― ご挨拶 ―

今般のコロナ禍の中、皆様におかれましては、生活やお仕事に少なからず影響を受けられていることとお察しいたします。このような大変な時期に、弊会への変わらぬご理解・ご支援を承り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行が瞬く間に、世の当り前を崩壊させました。これにより、社会的な弱者にあたる子どもや若者の生活環境はさらなる格差を押し広げています。

コロナ禍の生活を見守る中で、「どうにか大丈夫。」という生活の中に限界点を突破した家庭機能不全や自殺のリスクの高まりをもつ人たちの悲痛な声なき声を感じております。

「子どもたちの日々高まるストレスや失業で、先が見えずに自然と涙があふれてきます。」という家庭。「みんながすぐにオンライン環境ができても、私には到底そんな事はすぐにできず。そんな場面が再々あり、その度に惨めな思いをします。無理に大学に行こうとした罰でしょうか。」と訴える学生。

みんなが厳しい状況にあるからと、見逃してはならない一人ひとりの人生があります。私たちは、不十分でも、理想に遠くとも、手を差し伸べ続け、一人ひとりと向き合い、誰もが孤立しない社会を目指して進んでいきます。

皆様のご厚意の下、2020年度におきましては、様々な政策提言や要望活動を実施できました。微力ながら、国・地方自治体への情報提供もできたことは弊会にとって大きな前進だと感じております。

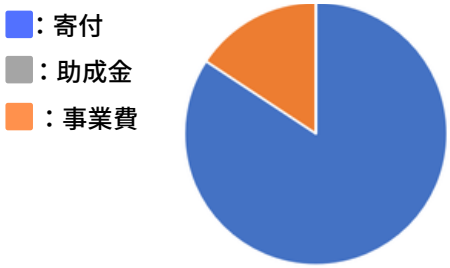
皆様と共に、次年度はさらに孤立対策を強化していきたいと意を決しております。誠に恐縮ではございますが、今後とも変わらぬご厚意をお願い申し上げます。

皆繋活動実績　（2020,5～2021,4）

皆繋のプロジェクトで支援した人数（延べ人数）

4,204名

2020年度皆繋収支内訳



内訳

寄付金 9.140.905円

事業費 1.706.008円

助成金　　０円

コロナが生んだ負の累積

コロナ禍での1年は今生きる全ての人に大きな影を落とすものだった。

新型コロナウイルス感染拡大により、人々の居場所は変化し、一気に孤立-孤独へと社会は大きく傾き始めました。孤立を招く社会課題の解決をMissionに掲げ活動をしている皆繋でも不安に感じる、未曾有の事態でした。

コロナ以前は、困窮していない家庭がコロナにより働き方を変化せざる得なくなり、厳しい環境に陥ることも珍しくなくなった。これらの環境を手だてせず放置すれば、親子の関係に修復が難しい程の悪化が起こることは明白でした。そのような状態を危惧し、2020年3月よりコロナ緊急支援を開始しました。

皆繋が支援した地域は県域から日本全体へと範囲は広がり、手を伸ばせる範囲が少しづつではありますが、広がっています。支援人数は４,204名と交流人数も増えています。

ICSこみゅすぽ安岡（コミュニティハウス）高齢者有料老人ホームの一室で活動を行っています。

感染後重症化のリスクが高い方が多く住んでいる場所でもあり2020.3月～2020.6月末まで居場所の活動自粛をしておりました。幸いなことに感染者を出すことなく、1年居場所として在り続けることが叶いました。

皆繋2020年活動紹介　（2020,5～2021,4）

ひとりぼっちをなくそうプロジェクト

・ICS(Inclusive Community Spot)　PROJECT（地域交流拠点づくり）

※8ページに活動詳細

【プロジェクト名】	【地域交流人数】	【ボランティア数】	【実施回数】
ICS こみゅすぽ 安岡	447名	０名	35 回

※新型コロナウイルスの感染拡大（緊急事態宣言）により５・６月は活動自粛。７月からは週1回に実施回数を制限し、感染予防対策を徹底し活動を行っております。

新型コロナウイルス緊急支援 プロジェクト ＋ 調査・提言

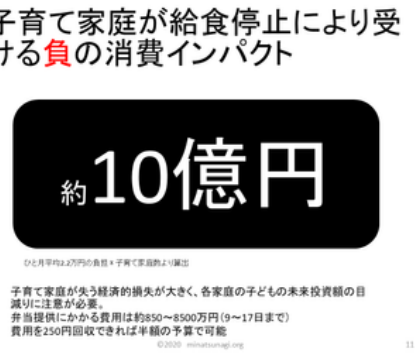
・オンライン教育環境支援 PROJECT

Wi-Fi環境支援、タブレット支給、オンライン塾参加権利を希望者に支援を実施する。
休校による、親子の不安に寄り添う支援。早期に子どもの学習環境の乱れを整え、教育の遅れ、学習習慣を取り戻す。

【支援人数】	【実施期間】	【対象】
１０名	5/9 ～ 6/30	山口県在住　子育て家庭

・子育て家庭給付金　PROJECT

皆繋独自調査で明らかになった子育て家庭での不足金22,000円を緊急給付。緊急性の高い家庭より給付を実施。返済不要の給付により防げること。コロナによって誰もが厳しい環境に陥るリスクがある。



【支援世帯数】	【実施期間】	【対象】
100名	5/1 ～ 5/7	山口県在住　子育て家庭

生活実態調査：353世帯に実施しコロナ禍での環境変化を明らかにした。行政や議員へと情報共有。

・町のお弁当配布　PROJECT

休校中、小学生の1日の過ごし方に不安を感じ、独自調査を実施する。その結果「孤食」「食事が満足に出来ていない」「環境の変化での家計負担」「親子関係に溝ができつつあること」などが判明する。

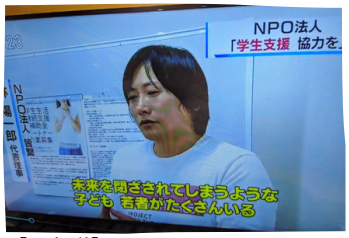
お弁当配布は経済的な負担と家庭負担を軽減することを目的に実施。この活動により、緊急時の地域互助が広がり、学校でのパン軽食、他団体のお弁当配布活動につながった。支払いは500円,250円,無料の３種類から選択でき、その時の世帯状況に合った支払いを選べるように配慮した。

【お弁当を届けた数】	【参加ボランティア数】	【実施期間】	【対象】
3004個	39名	5/14.15.18.19.20	下関市　小学校8校区 小学生含む未就学児又は 中学生がいる子育て家庭

生活実態調査：385世帯に実施し、休校が与える家庭環境リスクを明らかにした。
行政や議員へ情報共有。

・学生生活継続支援　PROJECT

７人に1人がコロナを理由に中退を考えていることが分かった。
努力する機会さえ奪われ、夢を失う学生が減るように、山口県出身の大学・短大・専門学校に通う下宿生を対象に給付を実施。



【TV報道】

1.県外生活支援コース100000円10名に給付。
2.県内生活支援コース60000円を10名に給付。
２つのコースでの支援を実施した。

【支援数】	【募集期間】
27 名	5 /25～7/31

※延長で７名追加支援

山口県生まれ学生生活調査：115名へのアンケート実施。大学生の生活環境、中退リスクなどを明らかにし、行政、議員などへ共有する。

・山口県　子育て環境をより良くするためのアンケート調査

第１回調査実施後（2020年3月13日）からコロナ禍での更なる環境の変化を調査で明らかにした。
内容は行政、議員などへ共有し現状の理解を訴え、より良い環境へと変わるよう提言活動をしている。

【実施期間】　7/7～7/31　　コロナ禍生活実態調査：353世帯

体験格差をなくすプロジェクト ＋ 調査提言

・角島デイキャンプ

マリンレジャー体験、家族の関係性向上など、ひと夏の思い出作りの支援を。
2020年は新たな取り組みとして、1人親世帯を対象に試みました。遊びの中にチームビルディングを盛り込み、活動が終わった後には子ども同士、親同士に一体感が生まれた活動に。
活動後には、目にみても分かる変化が感じられるものでした。

【参加者数】	【実施期間】
9家族　27名	10/11・18・25

皆繋アンケート調査：27名に対して実施。

・ORANGE SANTA PROJECT 2020

クリスマスに子どもが望むプレゼントを渡したい親。忘れられないクリスマスの夜を過ごす子ども。
オレンジサンタが「クリスマスは私たちが決してひとりぼっちでないことを教えてくれる」

【参加者数】	【実施期間】	【ディナーを届けた数】
下関市　420名	11/24～12/25	下関市　100名
山口市　173名	11/24～12/25	山口市　50名
山陽小野田市及び宇部市 658名	11/24～12/25	山陽小野田市及び宇部市　100名

クリスマス、生活実態調査:1251世帯　へ実施

日本の動向

英語名
Minister of Loneliness

日本が世界で2か国目の任命

「孤独・孤立対策担当大臣」（令和3年2月）

　菅義偉首相が英国に次いで２番目となる孤独-孤立対策担当大臣を任命し、具体的な支援策などを議論するために発足させたもの。英国では2018年に一足早く孤独担当省を置いている。担当省の役割は、自殺防止や高齢者の見守りなど関係府省にまたがる政策を束ねるもの。
コロナの影響もあり、2020年の自殺者数は11年ぶりの増加となった。
小中高校生は499人、統計のある1980年以降で最多という記事もありました。
パンデミックで日本の自殺率が11年ぶりに増加したこと、2020年の自殺者は新型コロナの死亡者数よりはるかに多いこと、 特に女性が急増していること、多くの女性が不安定な雇用状態にあることに触れている。
これらの内容は、海外でも興味深く伝えられています。

コロナ禍により、今の日本は誰でも孤独や孤立に陥る環境！特別なことじゃない…。

コロナ影響で中退や休学の学生が約5800人　2020年4月-12月　文部科学省調べ

中退者の7人に1人で新型コロナの影響　ジェイック調べ

　文部科学省は、99%の学校が後期授業料の納付期限を猶予し、74%が経済的に困難な学生を対象に授業料の減額や免除を行っていること、国の低所得者世帯を対象とした給付型奨学金が給付される制度が去年４月から始まり、12月時点で27万人近くが利用していると報告している。
　去年始まった低所得世帯への高等教育の無償化制度の効果でギリギリ学生生活を継続出来ている世帯も多くいると推測され、そこからこぼれた世帯の中には、支援が届かず厳しい状況であることは想像することが出来る。
皆繋の独自調査でも、大学生がアルバイトをして家計を支える家庭も多くコロナ禍の長期影響は更なる大学中退を助長させると考えている。
　さらには、コロナ禍で大学生活が楽しめず意欲が無くなったり、オンライン授業の連続で疲れ、精神的なストレスを抱えて孤立し学業が続けられないというケースに対しても注意が必要だ。大学に入学した気がしないという声もありコミュニティー不足が大きな影響を与えることも懸念される。

皆繋は深刻化する社会的孤立を解体する為に活動を続けています。

みんなの調査

集めたアンケート内容を読み解き
行政に届ける活動

新型コロナウイルスにより地域の居場所存続危機！

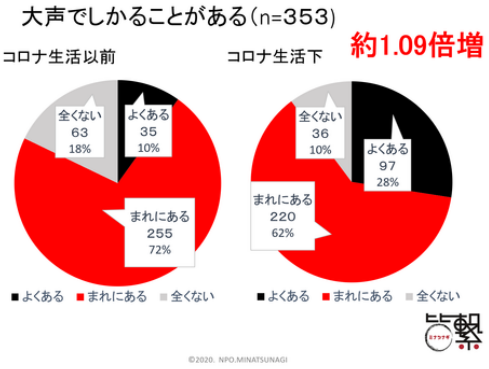
皆繋は下関市へ新型コロナ対策を含んだ衛生講習会の実施を要望。同時に居場所で使える衛生管理マニュアルを、山口大学院医学系研究科 臨床神経学 川合先生に師事を受け作成。コロナ禍でも安心して運営できる基盤作りに貢献。下関市でも衛生講習会が実施される。

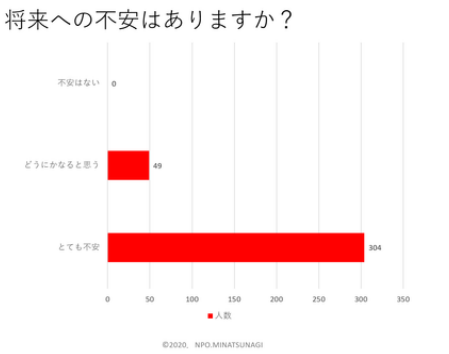
【実施アンケート】2020年5月～2021年4月末

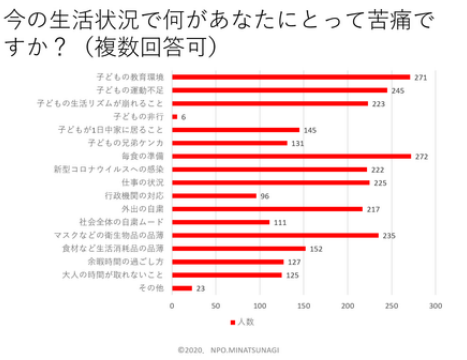
1. 新型コロナウイルス感染拡大　家庭支援給付金
2. 山口県で育った学生へ！　学生生活継続支援補助金
3. 山口県内の子どもへ！ オンライン教育環境支援を届けます
4. 町のお弁当配布PROJECT
5. 子育て家庭給付金　配付決定者へのアンケート
6. 町のお弁当配布PROJECT　終了後アンケート
7. 山口　子育て環境をより良くするためのアンケート
8. 大学生生活　近況アンケート
9. LUCKYCHRISTMASCAMPAIGN2020　アンケート
10. LUCKYCHRISTMASCAMPAIGN2020　当選者アンケート
11. 子どもの口腔状況に関するアンケート

＊　詳細はホームページに掲載しております。

得られた声は行政や政治の場へ届けられています







とても興味深いアンケート内容が多く、皆繋が行う活動の根拠や理由になっています。届けた要望の中には、現在も行政で検討されているものもあります。ひとり一人の声は個人や個別でのケースと受け取られがちです。取りまとめる事で全体の意思として有用な情報となります。

MINATSUNAGI 2020

— 皆繋　2020年のチャレンジ　—

01

— ICS PROJECT —

ひとりぼっちをなくそうプロジェクト
地域交流拠点の運営

02

— 新型コロナ　緊急支援 —

若者を未来に繋ぐ

03

— 角島 デイキャンプ —

最高の夏の思い出を

04

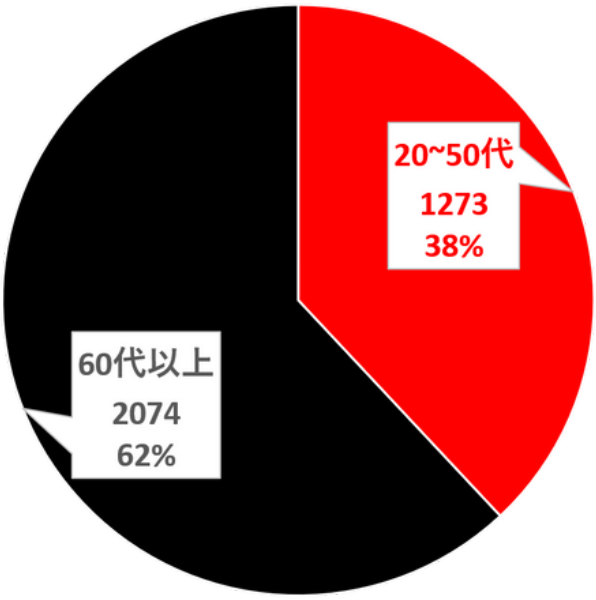
— ORANGE SANTA PROJECT 2020 —

親子で過ごす
忘れられないクリスマスを届ける

孤独死
年間3万人の時代

孤独死の約4割は
現役世代

孤独死の年齢別の構成比



孤独死は高齢者の問題だけではない。
孤独死は10年で3倍に増加。
2030年には3世帯に1世帯が単身に。
無縁社会。
非対面コミュニケーション思考へのシフト。

孤立しない社会へ

みんなの居場所、
地域の交流拠点をつくる

コミュニティースポット＝こみゅすぽを下関市安岡につくりました。
子どもを預かり、遊びや学習、食事を地域の方と共有する場です

01.minatsunagi

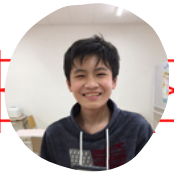
ICS(Inclusive Community Spot)　PROJECT　後援:下関市

3年目は未曾有の緊急事態、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を強く受けた年となりました。感染拡大以前では小学校６校区から子ども達は集い、校区や世代を超えた関わりが持てる居場所になっていました。新型コロナウイルス感染予防対策により、校区を1校区（安岡校区のみ）からの利用に限定し、実施曜日を１日/週に減らし実施。前年度と比較し72%利用人数減少となりました。

当たり前に思える友達と遊ぶこと、勉強をすること、食事をすること。当たり前のことを自然と提供することが出来たのは、間違いなく多くのご支援のお陰です。そのひとつひとつの支援が代表の思い描いていた「誰もがいつでも集える場所」の運営に繋がっています。進路や学習の相談にも対応し、身近な相談場所としても活用でき、行き場のない悩みなど一緒に解決できる。これらの活動はコロナ禍にあって、人との物理的なつながりが難しい状況であるからこそ、無くしてはいけない場所なのです。

基本頻度：　週2回（月曜：15:30～19:30）
（土曜：11:30～19:00）

実施場所：下関市　安岡



2020.7～2021.4
食事提供数

337食

2020.7～2021.4
居場所延べ利用人数

306名

2020年 PowerPoint

１.居場所で感染、クラスターが起こらないように予防！！

⑴利用時の問診　⑵非接触体温計購入　⑶衛生物品の充実
⑷手洗い,消毒の奨励　⑸換気　以上を徹底的に行い、スタッフも市外への不要な外出を禁じました。
また子ども達に手洗いの仕方を丁寧に伝える機会にもなり、衛生教育などが充実しました。

２.より多くの子ども達に活動がつながるように！！

小学校へ活動報告また協力のお願いを行い、地域での役割を明確にしています。小学校の先生に活動への理解を求め、信頼関係を築く努力をしています。広報や人伝いに活動が広まり、低学年生の利用や見学が増えています。
親御さんも一緒に食事をして頂く機会なども増え、多様な利用の仕方が増えています。

広報用ポスター

新型コロナ　緊急支援

2020年5月29日
皆繋 コロナ関連支援活動について
下関市より感謝状を拝受しました！

[関連支援]

前年度3月13日　子育て家庭 コロナ禍生活実態調査
前年度3月25日-4月7日 お弁当3028個　配付

2020年5月9日 オンライン教育環境支援
2020年5月11日 子育て家庭支援給付金　配付
2020年5月 飲食-宿泊業の廃業-失業に伴う負のインパクトとその回避に関する要望書
下関市へ要望書提出
2020年5月14日-5月20日 お弁当3004食　配付
2020年5月22日-7月末 学生生活継続支援補助金
2020年5月25日-7月末 山口県学生未来応援ファンド
2020年7月7日-7月31日 山口県 子育て環境をより良くするためのアンケート調査実施
2020年10月4日　厚生労働副大臣 山本博司氏　視察　意見交換

孤立・孤独対策の効果的一手を考察する

2020年10月4日
厚生労働副大臣　山本博司様
皆繋に視察にお越しいただきました！

社会的孤立を予防する仕組みとして、地域交流拠点の運営と効果を図る弊会の活動について、厚生労働副大臣（現　内閣府副大臣　兼任）山本博司様と意見交換を致しました。孤独の状態事態が社会的損失であること、孤独が様々な社会課題を増進・深刻化させる要因である事をお伝えしました。
　弊会では、社会的孤立対策の仕組みが具体的に取り組まれ、インフラ化していくよう今後も社会的孤立に対する啓蒙に取り組んでいきます。

山本博司氏 視察の様子

コロナ禍で次第に起こる教育の遅れ、生活習慣の乱れに対処！！

【1．オンライン教育支援】

全国一斉の休校は、時の経過とともに、
教育の遅れの不安に・・・。

山口県域　10名の子育て家庭にオンライン教育環境を整備するための緊急支援を実施。

①Wi-fiルーター（通信費込み）を無償貸与
②学習塾と連携したオンライン授業の提供
③家庭で学べるオンライン無料コンテンツの紹介
④タブレット機器を贈与

（実際の声）

コロナの影響で学校がなかなか始まらず、長女小6は授業の遅れをとても心配しています。
学校の長期休みの宿題もあまりなく自宅で勉強したいと思っております。

留守しがちの為、子供達の様子がよく分からず心配しています。
そんな中、オンライン教育環境のお知らせが届きとても喜んでいます。

【2．子育て家庭支援給付金】

急な全国一斉の休校は、家計にも直結しました。特に、3月は子育て家庭には経済的に負担が大きい月です。弊会の調査で、1家庭平均22,000円の出費があることがわかりました。

山口県域　100名の子育て家庭に22000円返済不要の給付金。

（届いたお困りの声）

時短勤務になりかなり苦しいです。子供たちは1日二食で我慢してもらい、大人は1食食べるか食べないかです。お腹いっぱい食べさせてあげたい、オムツを買いたいです。

仕事は夫婦で福祉職のため休めるわけもなく、家に留守番をさせている子供たちの宿題を見てあげれず、ただただストレスになりつい先日辛くなり泣いてしまいました。思うようにいかない。

【3．町のお弁当 PROJECT】

下関小学校校区【垢田-生野-勝山-川中-川中西-熊野-安岡-山の田】

緊急事態宣言後、２度目となるお弁当配布活動。学校が休校になり環境の変化により家庭が疲弊、子ども達の置かれた環境も悪化していた。

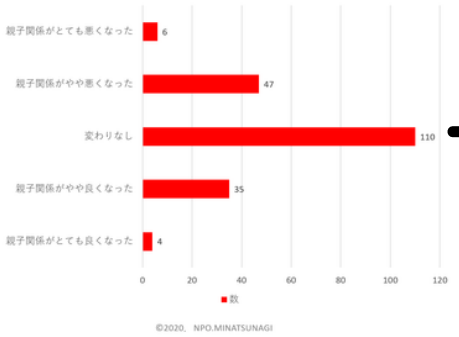
【実績】

児童の手に渡ったお弁当 **3004** 個。

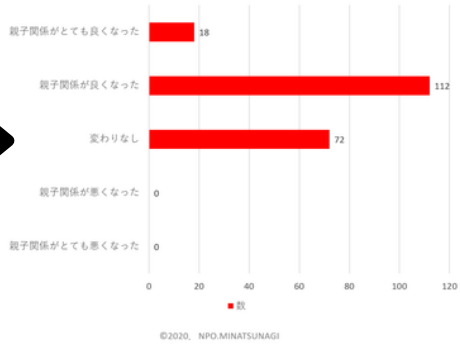
活動により親子の関係改善、負担が減りましたなどお声を沢山いただきました。

【調査一部】

一斉休校による生活変化により親子の関係に影響はありましたか？



お弁当の配布を受けて、親子関係の変化はありましたか？



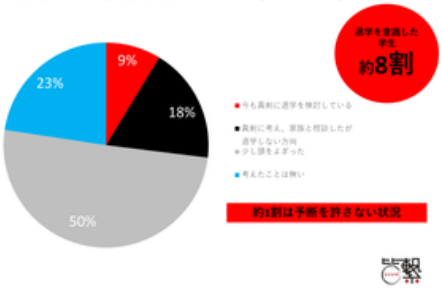
一斉休校による親子の変化では4家庭に1家庭の割合で関係が悪化したと皆繋アンケートでは分かった。弁当の配布で配布前と比較し関係改善が感じる家庭は６割以上であることも分かった。

【感謝の言葉】

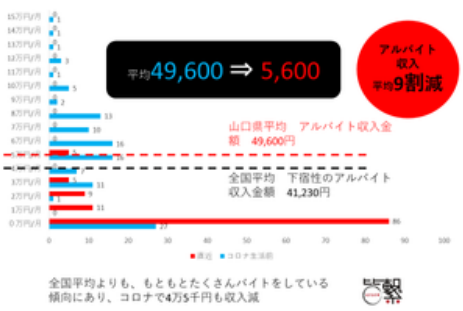
・父子家庭の為3月の休校以来、昼食の準備に苦労していました。
・初日から子ども達は大変喜んで昼食を摂ったようです。私は仕事で不在ですが、毎日お弁当の写真を撮ってメールで報告してくれました。
「今日はこんなお弁当だったよー！」、「量が丁度良くてお腹いっぱいになったよ！」、「今日は好きなハンバーグだった嬉しかったよ！」、「美味しかった」など息子の様子が分かり安心して仕事に打ち込む事が出来ましたし、皆繋様のお弁当を通して子どもとのコミュニケーションツールもより一層増えた様に感じています。

【4．学生生活継続支援補助金】

コロナウイルスの流行の影響で、退学を検討したことはあるか？（n＝115）



コロナ生活前後のアルバイト収入の変化（n＝115）



全国 27名山口県で生まれ育った大学、短大、専門学校に通う下宿生に返済不要の補助金を交付。

【学生からの声】

・1日に使えるお金を1,000円に決めて節約をしています。
・服飾美術で、デザインや被服、芸術的なこと等を、大学で一生懸命勉強することを将来活かして、女性が活躍できる仕事に貢献したい。

【実績】

- 27名の学生に総額〇〇円の返済不要の支援補助金を交付
- 115名に対して「退学検討」「アルバイトについて」「仕送りについて」などの独自アンケートを実施。
- コロナ禍に他県や他市の大学へ下宿している、させている親子の悩みや経済的な不安を傾聴し支援をする。
- 得られた大学生の現状を企業、行政に共有し問題解決への一助とする。

03.minatsunagi

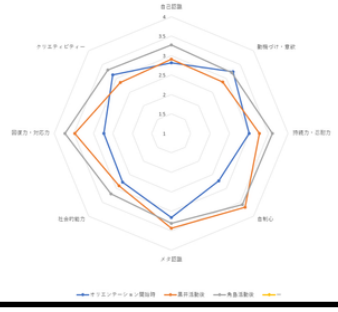
プロジェクト協力パートナー
NPO法人コバルトブルーライフセービングクラブ

角島デイキャンプ Tsunoshima Day Camp

2020年で3年目となる角島デイキャンプ。毎年30名前後応募を募り角島へ招待しています。2020年はひとり親世帯を対象に応募を募り、県域から9家族27名が参加しました。
参加した家族はコロナ禍により増して何処にも行けていないと参加を喜ばれていました。黒井漁港での釣りやクリアカヤック体験、角島でのバナナボートやサーフィン体験などマリンスポーツは好奇心や満たされる体験であること。チームビルディングや焚火を囲んで飯盒炊飯、子ども達が親御さんへ朝食作りをするなど自己肯定感や非認知能力を刺激する多彩な活動も盛り込んでいます。
皆繋の独自スケールを活用し親子での成長が確認出来、促すことが出来たことはひとつの自信に繋がりました。今後も修正をしながら、よりよい体験を提供出来るよう考えています。

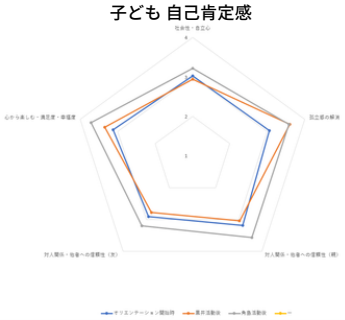
【活動後の変化】

子ども 非認知能力



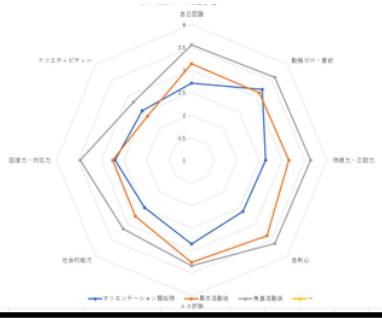
非認知能力の中で活動により効果的に改善が見られた項目
①自制心
②回復力・対応力
③持続力・忍耐力の順であった。

子ども 自己肯定感



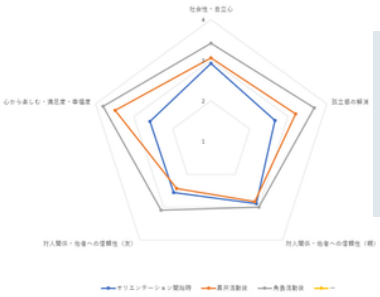
自己肯定感の中で活動により効果的に改善が見られた項目
①心から楽しむ・満足度・幸福度
②孤立感の解消
③対人関係・信頼性（親）
の順であった。

親から見た 子どもの非認知能力



非認知能力の中で活動により効果的に改善が見られた項目
①自己認識
②自制心
③持続力・忍耐力の順であった。

親から見た 子どもの自己肯定感



自己肯定感の中で活動により効果的に改善が見られた項目
①心から楽しむ・満足度・幸福度
②孤立感の解消
③社会性・自立心の順であった。

【参加した親御さんの声】

・子どもたち、特に2番目の子が、やりたいことをやっていたり、もっとやりたかった、まだ終わりたくない、来週も来たい、アンケートが楽しいなどとこんなに気持ちを伝えてくれることが嬉しかった。　Hさん

・同じシングル家庭ということで、シングルの形はいろいろだけど悩みに思ってるものが同じだったり、自分が悩んで解決した時のことが他の人に役立つ情報だったり、自分の考え方を改める機会になったり、本当に素敵な機会だったと思います。　Aさん

Experience

クリスマスは子どもはもちろん、親にとっても最も大事なイベントの日。
そんな特別な日だからこそ、クリスマスが迎えられない家庭では格差に苦しみ、自己否定思想が深まります。それは、子どもの考える力、気力、生き抜く力をむしばんでいきます。

下関でサンタが来ない子どもは約100人います。

NPO法人皆繋　2018　ラッキークリスマスキャンペーンのアンケートより分析

04.minatsunagi

プロジェクト協力パートナー　株式会社　イズミ

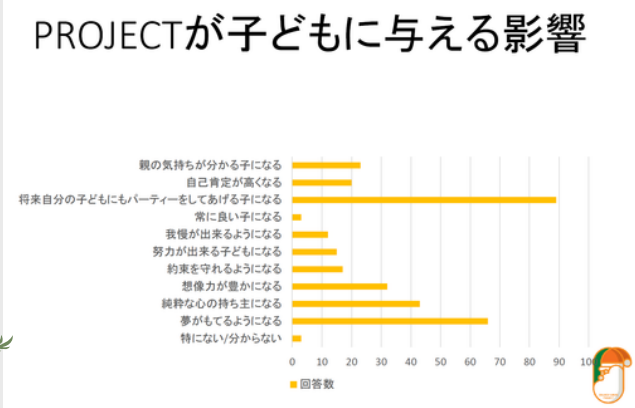
オレンジサンタプロジェクト 2020

心を灯す思い出のクリスマス

【下関市・山口市エリア】
主催：NPO法人皆繋
特別協賛：株式会社ルナー

【宇部市・山陽小野田市エリア】
主催：かねこキッズクラブ
特別協賛：株式会社エムビーエス

クリスマスの支援を開始し３年が経過しました。
下関市、宇部市、山陽小野田市、山口市の４市で同時開催するまでに大きく成長しました。
これらの取り組みは社会的な背景を捉え、地域の子育て実態を測るものです。
「どなたでもサンタクロースに！」地域の子ども達にあなたが「一生の想い出となるクリスマス」を贈ることが出来る活動です。



【実績】
申込み総数：1251世帯
当選者総数：250世帯
Wチャンス当選者：300世帯

新型コロナ感染拡大の中でも多くのニーズが届く！
申込みアンケートでPROJECTが子どもに与える影響についての問いでは、多くの答えに「将来自分の子どもにもパーティーをしてあげる子になる」、「夢がもてるようになる」とあり、活動が正の連鎖のように続いていく一助として期待する声が多かった。

皆繋は毎年約300世帯の子ども達に忘れられないクリスマスを届けています

イベント後の感想

※手紙の一部

・パティーセットはいろんな人のおかげでもらえたことを言うと「すごい人がいるね！！その人たちもサンタさんくるね！！」とニコニコで言っていました。幸せな時間を過ごせてとても良かったです！！

・恥かしい話、年末は毎年厳しくてクリスマスはいつもとかわらず普通の1日でした。食事も普通ケーキもない1日でした。でも今年はオレンジサンタさんのおかげで私の人生でも、子どものクリスマスでも1番すてきなクリスマスになりました。食事もびっくりするぐらいおかわり！！おかわり！！と食べていました。実はシャンパン（風炭酸飲料）も初めてですごく喜んでいました。

皆繋の仲間作り　#How to join minatsunagi ?

様々な活動をしている皆繋。自分にも何か出来るかも?と思われたあなたに紹介。
あなたに合った関わりで是非皆繋のサポーターになっていただけませんか??

はじめ

皆繋の活動をSNSで見てみる！！

「皆繋　ホームページ」にて団体がどんな目的で活動しているかチェック！
ブログもあって読めば読むほど興味が湧いてくるかも。少しづつ問題の全体像が見えてくるかも。

「皆繋　公式Facebook」で皆繋の活動チェック！　※毎週月曜日17時　に更新予定
日々のICSこみゅすぽの情報や皆繋が行っている活動がタイムリーに分かります。

楽しみで

お友達登録でより身近に！！

「皆繋　公式line」へ登録！！
子育てをしているお母さん、お父さんへ情報発信をしています。
いち早くイベントの開催、支援の報告、皆繋の活動が届きます。使い慣れているlineで事務局へ連絡も出来たりと便利なツールです♥

※皆繋　公式line

イベントに訪問、参加！！

皆繋が行っているイベント
#ICSこみゅすぽ　#レモネードプロジェクト　#ラッキークリスマスキャンペーン
#角島デイキャンプ　#Welfare hack day　などまず興味のあるものに参加♥
何に参加出来るか?事務局に連絡してもらえたら、お伝えすることもできます(^^)/

「ミナツナギ」　への訪問♪

あなたがしたい取り組みが形になるかも。子どもの問題が深くしりたい、仲間をつくりたいなどの希望があれば是非おすすめします。
ボランティア、寄附募金箱、自動販売機設置、都度寄付、マンスリーサポーター、遺贈、お菓子寄付など）なにかしらでの地域への取り組みが行えます。

気軽に

ボランティアで参加！！

あなたが皆繋の顔として、地域で活動をしていきます。
皆繋ではプロボノ、学生、地域での力を積極的に取り入れています。あまたの「ちから」がが必要なんです！！
子ども達と一緒に過ごすことで、エネルギーをもらいませんか?

活動に参加するにはボランティアガイドブックの説明を聞き、現場には参加が可能となります。子どもを取り巻く環境また私たちの理念に共感して、いただきたいからです。スキルを活かして楽しく活動したい方は、ご連絡をください。いつでもお待ちしております。

寄付活動で参加！！

1日約33円からの団体への支援が可能です。活動を必要としている人は沢山います。地域には半永久的にサービスはあり続けないといけません。活動継続には資金が必要です。
様々な方法での寄付を用意しています。あなたにあった方法をご検討下さい。
また寄付された方の了承を得て、活動報告書への協力感謝で記載させていただきます。企業の協力も同様です。
イベントなど活動終了の際には、報告も行いながら皆繋への未永い活動へのご理解とご協力をいただければと思います。

皆繋への寄附はこちらからお願いします

都度寄附
https://congrant.com/project/minatsunagi/3050

マンスリー寄附
https://congrant.com/project/minatsunagi/3049

その他

寄付付き自販売機設置
寄付商品の販売
店舗で募金箱設置

物品寄付
切手，書損じハガキ
お米
酒類※日本酒以外の未開封の物
楽器※壊れていない
ブランド品，腕時計，装飾品

その他活動（講演活動・ファンドレイジング・調査など）

2020年

5月　全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 JR東日本IPad mini寄贈９台
下関市　前田市長よりコロナ禍の活動に対して感謝状

8月　下関市　文教厚生委員会内　研修演題「子どもの貧困について」林 陽一郎講師

9月　子どもの居場所に関する大学生インタビュー 山口県立大学 学生
(公財)山口県ひとづくり財団主催　やまぐち高校生ふるさと探求
ゲストスピーカー　林 陽一郎

10月　イオン幸せの黄色いレシート　レシート合計金額の１％寄付　受取
厚生労働副大臣　山本博司氏　視察　意見交換

11月　下関市 子どもの未来応援事業 支援会議 研修会合同セミナー

12月　仮）下関 子ども食堂ネットワーク会議
下関市 子どもの未来応援事業 研修会合同セミナー　林 陽一郎講師

2021年

1月　下関市 子どもの未来応援事業 研修会合同セミナー

2月　仮）下関 子ども食堂ネットワーク会議

3月　仮）下関 子ども食堂ネットワーク会議
下関市 子どもの未来応援事業 研修合同セミナー
下関市 市長 訪問　子どもの居場所事業 環境報告

4月　イオン 幸せの黄色いレシート　レシート合計金額の１％寄付　受取
安岡小学校　ICSこみゅすぽ安岡　広報ポスター配布
山口県歯科医師会　依頼　子どもの口腔状況アンケート実施
2021年 体験格差解消事業報告　B＆G財団、NPO法人コバルトブルー）

広報活動

メディア掲載

2020年

5月　山口新聞　小学校８校にお弁当提供 給食再開までNPO法人が支援（町のお弁当配布）

ｔｙｓ　テレビ山口　Ｎスタ　経済支援NPOが取り組み（学生生活継続支援補助金）

讀賣新聞　弁当6000食 子育て世帯支援 下関市がNPOに感謝状（コロナ禍活動全般）

6月　朝日新聞　子育て家庭支援下関市が感謝状 弁当提供のNPOに（コロナ禍活動全般）

小学校8校に弁当提供
給食再開までNPO法人が支援
弁当を受け取る児童＝14日、下関市

前田晋太郎市長に活動を報告する「皆繋」代表理事の林陽一郎さん（左）＝下関市役所

9月　市報しものせき　皆繋MINATSUNAGI　まちの主役で掲載

12月　山口新聞　４市の家庭に「パーティーセット」（ORANGESANTAPROJECT）

2021年

1月　山口朝日放送　Jチャンやまぐち　コロナ禍の生活困窮状況について

2020年度のご報告とお礼

平素は弊団体にご理解、ご協力下さいまして、大変感謝しております。
昨年度は「新型コロナウイルス感染拡大」という歴史上に残る出来事が勃発し今も尚人々を脅かしています。そのような中で特に影響を受けた子育て世帯や学生に支援ができましたのは皆様のおかげと心より感謝しております。これからも皆様と共に「ひとりばっちにならない社会」を実現させるために一生懸命活動してまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。

スタッフ 濵本 奈緒美

2020年はコロナ禍での活動となり、なかなか思うように動けませんでしたが、常に今、自分たちにできることは何かを考え、日々活動してきました。これらの活動が出来ましたのも、私どもの思いに共感し、支えてくださった皆様のお力があってのことです。改めて感謝申し上げます。これからも皆繋をどうぞよろしくお願いいたします。

スタッフ 勇士 裕美

2020年は厳しい年でした。
沢山の厳しい環境、お声を聴かせていただき、何か出来ないかと微力ながら活動しました。
ご理解し協力して下さる子育て家庭の皆さま。ご寄付して下さるご支援者さまの声が後押しになり、これらの活動を実施できたものと思っています。ありがとうございました！

スタッフ 西重 大吾

協力支援サポーター・企業・団体の皆様

※敬称略

支援サポーター(PROJECT支援も含む)

今中崇之さん、上原祥典さん、岩本順子さん、福田道治さん、
伊藤トモ子さん、岡本節子さん、山田輝城さん、丹田和子さん、
川野敏昭さん、石口哲平さん、キノシタマリコさん、藤永絹代さん、
中野美智子さん、伊藤隆一さん・和代さん、森澤久美子さん、
田中秀樹さん、タナカメグミさん、中重秀之さん、大久保千代さん、
山本達夫さん、末次正治さん、勇士裕美さん、木村卓一さん、
安成道子さん、大西隆さん、船津尚美さん、坂本浩二さん、
秋月美佐子さん、坂本眞一郎さん、林桃子さん、匿名希望1名

渡邉祐太郎さん、青木美千子さん、岡部圭子さん、河本圭司さん、迫田岳志さん、
安永靖子さん、西重桂子さん、野田美子さん、岡原隆司さん、山県佑太さん、
品田智之さん、大田史子さん

遺贈寄付者

小石葉子さん

支援企業・協力企業・協力団体

LUNAR

imaben®

医療法人光風会
岩国中央病院

UEHARA 株式会社 上原不動産

株式会社保険
クリエイト

mbs make business style
株式会社エムビーエス

KANEKO KIDS CLUB
かねこ
キッズ
クラブ

FKS
食を通して地域と共に
株式会社 エフケイエス

COBALTBLUE
SHIMONOSEKI LIFESAVING CLUB

you me

皆繋への遺贈について 未来に貢献できる寄附のかたち

生きた証を、未来に残す

終活を意識することで自らの最期を考える。現在の「生」と真摯に向き合う方が増える中、人生の集大成として社会貢献を選択肢に入れる方も増えています。

遺贈寄附の流れ

遺贈に際しては法的に有効な「遺言書」の作成が必要となり、その内容は法定相続よりも優先されます。

ご生前

① ご相談

遺贈のご意思をご相談下さい。責任をもって「窓口」の役割を担い、専門家におつなぎするなど対応させていただきます。

② 遺言執行者の決定

遺言書の内容を執行する、「遺言執行者」をお決めいただきます。遺言執行者は、遺言どおりに故人のご遺志を実現させます。

③ 遺言書の作成と管理

専門家にご相談の上、法的に有効な遺言書を作成します。またご意思を確実に実現するため、遺言書の存在を信頼できる方へ知らせておくことも重要です。

ご逝去後

④ 遺言者のご逝去

遺言の効力が生じます。ご逝去の知らせを受けた遺言執行者は、遺言書を開示するとともに皆繋へご連絡いただき、弊会もその内容を確認させていただきます。

⑤ 遺言の執行

遺言に基づいて、指定の財産を皆繋にご寄附いただきます。併せて、皆繋は遺言執行者宛ての受領証を発行いたします。

通常の寄附との違いは

寄附希望者のご逝去後に寄附が実行される点です。

あなたの想いが、必ず未来の「誰か」を救う。

収支掲載

活動計算書

令和　2年　5月　1日 から令和　3年　4月 30日 まで

ＮＰＯ法人　皆繋

（単位：円）

科　　目	金	額		
Ⅰ　経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	20, 000	20, 000		
2. 受取寄附金				
受取寄附金	9, 083, 714	9, 083, 714		
3. 事業収益				
売上高	1, 910, 409	1, 910, 409		
4. その他収益				
受取利息	34			
雑収益	32, 280	32, 314		
経常収益計				11, 046, 437
Ⅱ　経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	916, 088			
法定福利費	8, 571			
人件費計	924, 659			
(2) その他経費				
仕入高	3, 987, 534			
合計	3, 987, 534			
売上原価	3, 987, 534			
業務委託費	112, 750			
旅費交通費	12, 347			
通信費	347, 830			
消耗品費	49, 510			
広告宣伝費	3, 043, 243			
保険料	45, 926			
支払手数料	359, 200			
支払助成金	4, 461, 450			
その他経費計	12, 419, 790			
事業費計		13, 344, 449		
2. 管理費				
(1) その他経費				
消耗品費	56, 460			
広告宣伝費	490, 930			
諸会費	64, 800			
租税公課	182, 600			
支払手数料	205, 900			
雑費	1, 503			
その他経費計	1, 002, 193			
管理費計		1, 002, 193		
経常費用計				14, 346, 642
当期経常増減額			△	3, 300, 205
Ⅲ　経常外収益				
経常外収益計				0
Ⅳ　経常外費用				
経常外費用計				0
税引前当期正味財産増減額			△	3, 300, 205
当期正味財産増減額			△	3, 300, 205
前期繰越正味財産額				6, 502, 878
次期繰越正味財産額				3, 202, 673

STOP THE LONELINESS

VISION
— 目指す社会像 —

誰もが社会的排除や放置を
受けず、ひとりぼっちにならない
社会の実現を

MISSION
— 私たちの果たす使命 —

社会的孤立を招くすべての
社会課題を解決する

沿革

2013年　社会保障・社会的孤立に関連する調査を開始

2016年10月　NPO法人皆繋　法人化　団体設立

2017年8月　子どもの社会貢献教育　開始

2018年6月　包摂的地域交流拠点:ICS　こみゅすぽ安岡　開所

2019年9月　子どもの未来応援　コーズマーケット2019　開催
2019年12月　奈良先端科学技術大学院 大学 レモネードプロジェクト売り上げ寄付

2020年3月　新型コロナウイルスに伴う　対策や改善に関する要望書提出　（山口県 山口市 下関市 ）

2020年5月　コロナ禍の活動により下関市より感謝状　授与

■NPO法人

【HEAD OFFICE】

ADD:　〒750 - 0000　山口県下関市大字冨任91番地

TEL:　083 - 262 - 1755　　FAX:　083 - 262 - 1760

【TOKYO OFFICE】

ADD:　〒113 - 0033　東京都文京区本郷4丁目15 - 1　GRAVA201

minatsunagi@gmail.com

ホームページ: https://www.minatsunagi.org

https://www.facebook.com/minatsunagi

MINATSUNAGI

【寄付】

■山口銀行　本部営業部　普）5179414
エヌピーオーホウジン　ミナツナギ

■ゆうちょ銀行　記号15560　番号25908801
トクヒ）ミナツナギ

※QRコードより簡単に寄付を行えます。

いつでも寄付オンライン

ミナツナギに支援を　あなたの支えを必要としています。

2021年6月　発行